

上島町消防だより

第35回

四国地区消防救助大会

7月27日、消防の救助技術を競う第35回四国地区消防救助大会が、松山市で開催されました。

この大会は、消防の救助技術と四国地区消防職員の相互協力関係の向上を図り、消防の使命が達成されることを目的とし毎年開催されています。

陸上8種目、水上7種目の競技が実施され、上島町消防署からは、水島隆宏消防士・穂積雅晴消防士が水上種目「溺者搬送」に出場しました。

惜しくも入賞こそなりませんが、日頃の訓練の成果を十分に発揮しました。

今後この大会に参加し、訓練で培った技術・体力・精神力を消防業務に役立てていきます。



種目：溺者搬送 穂積雅晴（左）、水島隆宏（右）

消火器の

正しい使い方

阪神淡路大震災を機に自主防災組織の結成が急がれています。上島町でも地区ごとに避難訓練や消火訓練などが行われていますが、初期消火の手段として消火器があります。消火器は、いつでも使えるようにしておき使い方を確認しておきましょう。



①安全ピンを引き抜く



②ホースを外し火元に向ける
③レバーを強くにぎる

消火に夢中になって避難のタイミングを逃さないことが大切です。危険を感じたら消火をあきらめてすぐに避難し周りの人に知らせましょう。

消火器使用訓練装置

「テストセンセイ」

昨年12月に上島消防署に消火器使用訓練装置を配備しました。

この装置は天ぷら火災が画面に表示され、この画面に向かって消火器を使用するとセンサーが反応し消火できる仕組みになっています。

学校や各地区の避難訓練等にご利用を希望される場合は、上島町消防署にお問合せください。希望日に、職員が装置を持参して、皆さんの訓練をお手伝いいたします。お気軽にお申し込みください。



配備された「テストセンセイ」

防災豆知識

「困ったときの171番」

171番

地震などの災害発生時、重要な通信手段です。しかし、発生直後からしばらくは、安否確認など電話が集中し、つながりにくくなります。

○局番なしの「171」

震度6弱以上の地震発生などにより被災地への通話が困難な場合にNTTが災害用伝言サービスを開始します。

被災者側は、「171」をダイヤルし、音声に従って操作して自宅電話番号を入力すれば、録音及び再生をすることができます。携帯電話や公衆電話からでも録音・再生できますが、録音できる番号は自宅の固定電話番号のみです。



火災・救急 119番

消防本部 77-3166
消防署 77-4118



農業講座

しまなみ農業だより ニンニクの栽培ポイント

ニンニクはタマネギと同じユリ科の植物で、特有の臭いがありますが、隣国の韓国では美容と健康に良いとされ大量に消費されています。日本では焼肉のタレや料理の隠し味として使われています。暖地から寒冷地まで栽培ができますが、全国的に有名な産地は青森県で、主な品種は六片種といわれる1株に数個のりん片がつく大玉種が一般的な品種とされています。今月は、畑の空き地に少量栽培すればいろいろと重宝するニンニクの栽培ポイントについて解説します。

■栽培作型

植えつけは9月中旬から10月上旬（10月下旬までは植え付けできます）が、植え付け時期となります。タマネギと異なり、りん片（玉）を植えつけます。

表 ニンニクの作型

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	主要品種
平坦地		○	○								■	在来6片種

○植え付け ■収穫

■畑の準備

肥料名	10㎡当たり施用量 (kg)	施用時期
苦土石灰	10～15	植え付け2週間前
堆肥	20	植え付け2週間前
化成肥料（高度化成）元肥	1	植え付け1週間前（整地前）
化成肥料（高度化成）追肥	0.15（150g）／1回	2～4月の間 2～3回

酸性の土では生育が悪いので、苦土石灰を耕す前に十分に施用してください。また、よく肥えた土でないと大きな玉にならないので、堆肥もしっかり施用してください。元肥は植え付けの1週間前に土とよく混ぜて植え付け床を作ります。追肥は2月頃から1か月おきに2～3回、土寄せと合わせて施用します。

■植え付け

種子にするりん片は5～7g以上のものがよく、植え付け幅、株間は1条植えで、畝幅40cm、株間10cm、4条植えで畝幅150cm、株間15cm間隔が適当です。植え付けは1箇所1片を深さ3cmに埋め込みます。植え付け前に黒ポリマルチをすると乾燥防止、雑草抑制に効果がありますが、追肥の施用に工夫が必要です（液肥による施用も考えられます）。

■生育期の管理

大きなりん片を植えると、まれに2本以上芽が出るので1本立てにします。春になると、とう（花）ができるので、早めに茎ごと摘み取り、茎はニンニク芽として食べることもできます。

■収穫

玉の肥大が完了して、茎葉が50%程度枯れ始めたころ、晴天時に収穫して、畑に1～2日乾燥させます。その後、10株ずつ束ねて、風通しの良い雨の当たらない日陰に吊り下げて乾燥状態にして貯蔵します。

■病害虫防除

【さび病】葉にオレンジ状の小斑点ができて、枯れてしまう病気です。発生が見られたら、ダコニール1000を1000倍で2回防除します。

【アブラムシ類、ネギアザミウマ】葉に黒い小さな虫がたくさん付いたり、カスリ状に白くなる場合にはオルトラン水和剤1000倍で防除します。

